

節税レポート



平成 19年 3月号

発行日 2007.3.1

今月のテーマ 資金の流れ

1. 同じ金額の支出でも、経理処理の方法により損金になったり、ならなかったりで、税額に影響します。
2. 書類一枚提出しているかどうかで、認められる処理方法が異なり税額に差が出ます。
3. 種々の角度から検討することにより、節税が可能になります。

1. 利益通りには資金は増えない

a 損益計算書

売上高	100
売上原価	60
経費	30
利益	10

利益10ですから、この額の現金or預金(以下現金等)が増えたはずですが、ところが現実には税金を払う為に借入しなければならぬことも多いのです。

なぜでしょう???

在庫を持たず、全ての取引が現金等で行われていれば損益計算書の利益10だけ現金等が増えます。現実には在庫を持つし、売掛金も残ります。

発行 岡崎駿志税理士事務所
住所 〒190-0022 東京都新宿区新宿6丁目27番10号 塩田ビル203
TEL 03(5287)6818
FAX 03(5287)6819
Eメール info@okazaki-tax.com
URL <http://www.okazaki-tax.com>

2. 在庫、売掛金がどう資金に影響するか？

同じ損益計算書を使って、資金の流れから見てみましょう。

期末に 在庫 20
売掛金 10が残ったとします。

資金の流れで見ると

現金収入	90	売上	100	-	売掛金	10	=	入金	90
現金支出		売上原価	60	+	在庫	20	=	出金	80
商品仕入	80								
経費	30								
現金不足									<u>-20</u>

損益計算書では利益10が出ている事になっておりますが、資金面では不足する面白い現象が起きるのです。

これが勘定あって銭足らずという現象です。

売掛金、在庫として固まっただけ、資金として流れなかったのです。

したがって、この不足分を借入金で賄わなければならず、金利負担が生じるのです。在庫、売掛金には金利がかかることになるのです。

在庫を減らせ、売掛金の回収を急げというのも、資金の流れを良くするためです。

また、
在庫は陳腐化、店晒し、不良品化、金利負担を通して、
売掛金は貸倒、金利負担を通して損益計算書の悪化にもつながります。

- a 誤解して頂きたくありません。利益は資金に貢献しないということでは、ありません。利益による貢献以上に売掛金と在庫が足を引っ張たので、利益の分だけ現金等が増えなかったのです。
- b 売掛金が増えると資金は不足しますが、この勘定の対極にある買掛金が増えたら、どうなるでしょう。もうお分かりでしょうが、資金面では貢献するのです。払うものを遅らせれば現金等の流出も遅れるという単純な話です。
買掛金が増えたら、貸借対照表の構成が悪くなることとは、混同しないでください。
- c 経費の中に減価償却費が含まれていたら、どうでしょうか？
損益計算書では、経費となりますが、現金等とは出金されません。過去に出金されたものの一部が損益計算書に表示されただけです。

これらをまとめれば、資金の流れのルールは次のようになります。

1 利益 損失	利益の額だけ資金を増やす。 損失の額だけ資金を減らす。
2 減価償却費	減価償却費の額だけ資金を増やす。
3 売掛金	売掛金の増加は増加額だけ資金を減らす。
4 在庫	在庫の増加は増加額だけ資金を減らす。
5 買掛金	買掛金の増加は増加額だけ資金を増やす。

受取手形は売掛金と同じ動きをします。
支払手形は買掛金と同じ動きをします。

